



杉並区立杉並第五小学校 TEL3392-6528

備えあれば憂いなし

副校长 土上智子

〈ある日の我が家での出来事〉

数年前、休みの日に私と二人の子どもが家にいたとき、少し大きな地震が起きたことがあります。大きく揺れているにもかかわらず、二人ともボーッとしているので、私は、「地震のときははどうするの！」と、大声で言いました。その声で二人はハッとして、5歳の子はさっとテーブルの下にもぐりました。しかしその瞬間3歳の子は、ポンと私に飛びついてきました。上の子は、地震の時どうするのか幼稚園で練習したことがありました。下の子は入園前でした。親に飛びつくことは、間違っているとは言い切れませんが、この場合、机の下にもぐるのが正解です。日頃の避難訓練の大切さがわかります。

〈訓練の大切さ〉

例えば消火器の使い方一つでも、頭ではわかっているつもりでも実際にさわったことがないと、とっさの時に役立てることは難しいようです。

先日、防火管理者の講習会に行ったときに聞いた話ですが、火事が起ったとき「消火器を使おうとしたけれど、壊れていて使えなかった」と言う人の多くの場合は、消火器が本当に壊れていたわけではなく、ピンを抜き忘れるなど使い方を間違えていただけだったそうです。消火器の使い方は本当に簡単で、まずピンを抜き、ノズルをもって火の方向に向け、レバーを握るだけです。実際に火を目の当たりにすると、落ち着いて行動するのは難しいと思います。しかし、一回でも訓練などで消火器を扱ったことがあれば、慌てている中でも何とか使えるのではないかでしょうか。

〈子ども達の安全のために〉

学校では、子ども達が安全に生活できるように、いろいろな取り組みを行っています。

まず、毎月の避難訓練です。毎回いろいろな場面を想定して実施しているのですが、杉五の避難訓練を見ていて感心するのは、毎回

とても静かなことです。訓練の意味を理解し、皆真剣に参加しております、素晴らしい態度です。

5月には、教員と6年生の代表の児童が、消火器の使い方の訓練をしました。また6月には、多目的室に煙を充満させて、2年生と5年生が煙体験を行いました。煙の中を実際に歩くことにより、低い姿勢で歩くことで視界を確保できることが理解できたと思います。

それから、安全指導・交通安全指導についても年間計画に基づき、毎月実施しています。他にもセーフティ教室では、低学年は不審者対応、高学年は携帯電話やインターネット犯罪等について学習し、1年生の交通安全教室では横断歩道の渡り方を、4年生と6年生は自転車講習会を実施しました。

先日は、3年生以上が着衣泳を行いました。「服を着たまま水に入ると体の自由が利かない」ということは、頭ではわかっているつもりでも、実際に経験してみると想像以上であることに驚いたと思います。

〈安全で楽しい夏休みを〉

様々な危険から身を守るために、共通して最も重要なことは、「自分の身は自分で守る」という意識をもつことです。まずは自分が危険な目にあわないように心がけて生活すること。それでも、自分の身に危険が迫ったときは、最初は自分でなんとかしなければなりません。危険を周囲の人に知らせるのも、まず自分です。放送を聞いて避難経路を判断するのも自分、助けが来るまで待ちこたえる努力をするのも自分です。誰かが助けてくれるのを何もしないで待っていては、手遅れになってしまいます。

長い夏休み、ご家族で外出する機会も増え、お家で過ごす時間も長くなります。是非、この機会に、いざというときの行動について、ご家庭でも話し合いをされてはいかがでしょうか。

9月2日には総合震災訓練も行われます。訓練の趣旨をご理解いただき、自分の身にも起こり得ることとと考え、参加をお願いいたします。

充実した夏休みを過ごして、8月29日に元気な子ども達に会えることを楽しみにしています。